
個人投資家様向け 会社説明資料

2014年 9月

ND 日本電技株式会社

- I. 会社概要**
- II. 事業説明**
- III. 業績、見通し**
- IV. 外部環境、今後の戦略**
- V. 株主還元について**

New Design
For The Next



I. 会社概要

II. 事業説明

III. 業績、見通し

IV. 外部環境、今後の戦略

V. 株主還元について

New Design
For The Next



会社概要

- **本社所在地** 東京都墨田区両国
- **設立** 1959(昭和34年)9月
- **上場** 2003年3月(JASDAQ 証券コード:1723)
- **代表者** 代表取締役社長 島田良介
- **資本金** 4億7,049万円(2014年3月末現在)
- **従業員数** 658名(2014年3月末現在)
- **提携会社** アズビル株式会社 (旧 株式会社山武)
- **拠点** 東京・札幌・つくば・千葉・横浜・静岡・浜松・名古屋・大阪・岡山・広島など27拠点
- **事業内容** ビルディング・オートメーション、ファクトリー・オートメーションなど各種自動制御システム(=計装)の設計・施工・販売・保守

主力事業

空調計装関連事業

オフィスビル、工場、病院、ホテル、美術館、ホール、映画館、
クリーンルーム、各種実験設備・・・

2014年3月期売上比率・・・約 **88** %

新設(新設建築物対象)・・・約 **25** %

既設(既設建築物対象)・・・約 **62** %



産業計装関連事業

各種製造・搬送ライン、その他各種設備制御

2014年3月期売上比率・・・約 **12** %



I. 会社概要

II. 事業説明

III. 業績、見通し

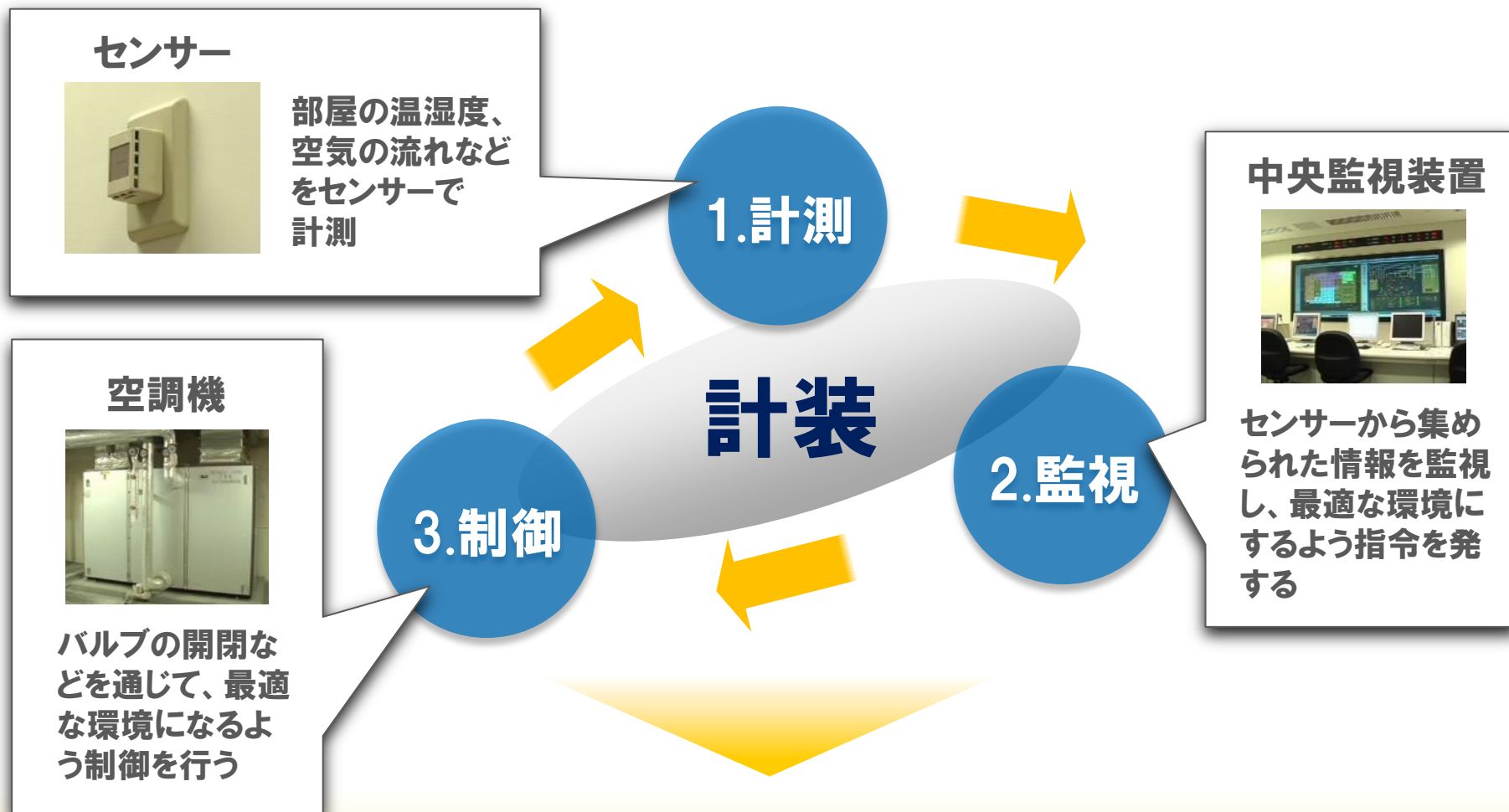
IV. 外部環境、今後の戦略

V. 株主還元について

New Design
For The Next



計装とは



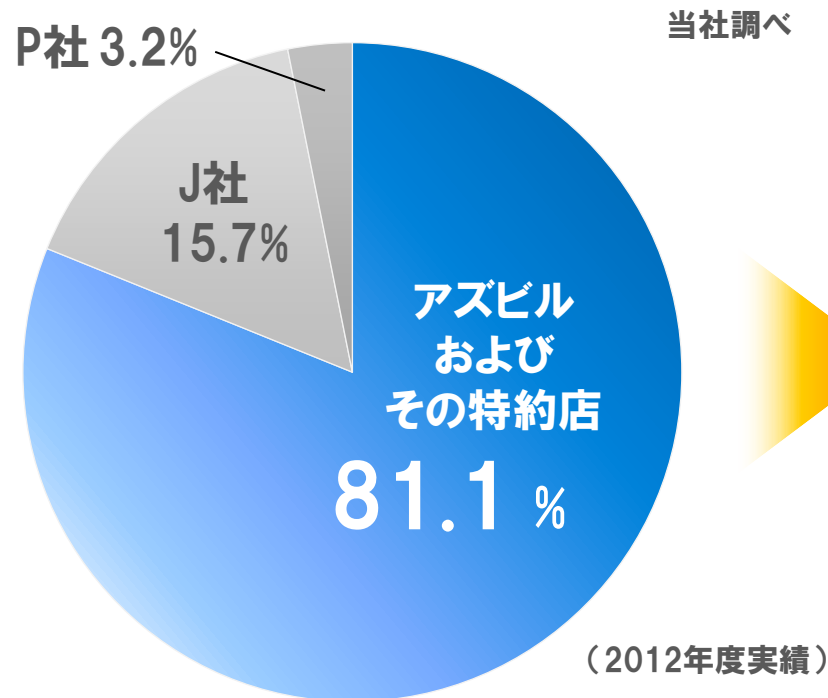
最少エネルギーで最適な環境

仕事の流れ 業界における当社の位置付け



空調計装業界

空調計装業界市場シェア



アズビルおよびその特約店

アズビルBSC	53.4 %
当社	10.0 %
T社	6.8 %
O社	5.4 %

- 空調計装業界市場規模 … 約1,800億円
- 空調計装業界シェア… アズビルおよびその特約店が圧倒的シェア

当社の特徴

1. 業界大手では唯一のエンジニアリング専門会社



- 計装は「経験工学」と
言われ、こなした現場の
数がモノを言う
- 高い施工監理能力
→ 収益力を左右

当社の特徴

2. 業界のパイオニア → 業界における「信用」 豊富な既設ストック



- 昭和34年創業
→ 業界における存在感
- 長年の施工物件の蓄積
→ 有望市場である
既設市場に強み

I. 会社概要

II. 事業説明

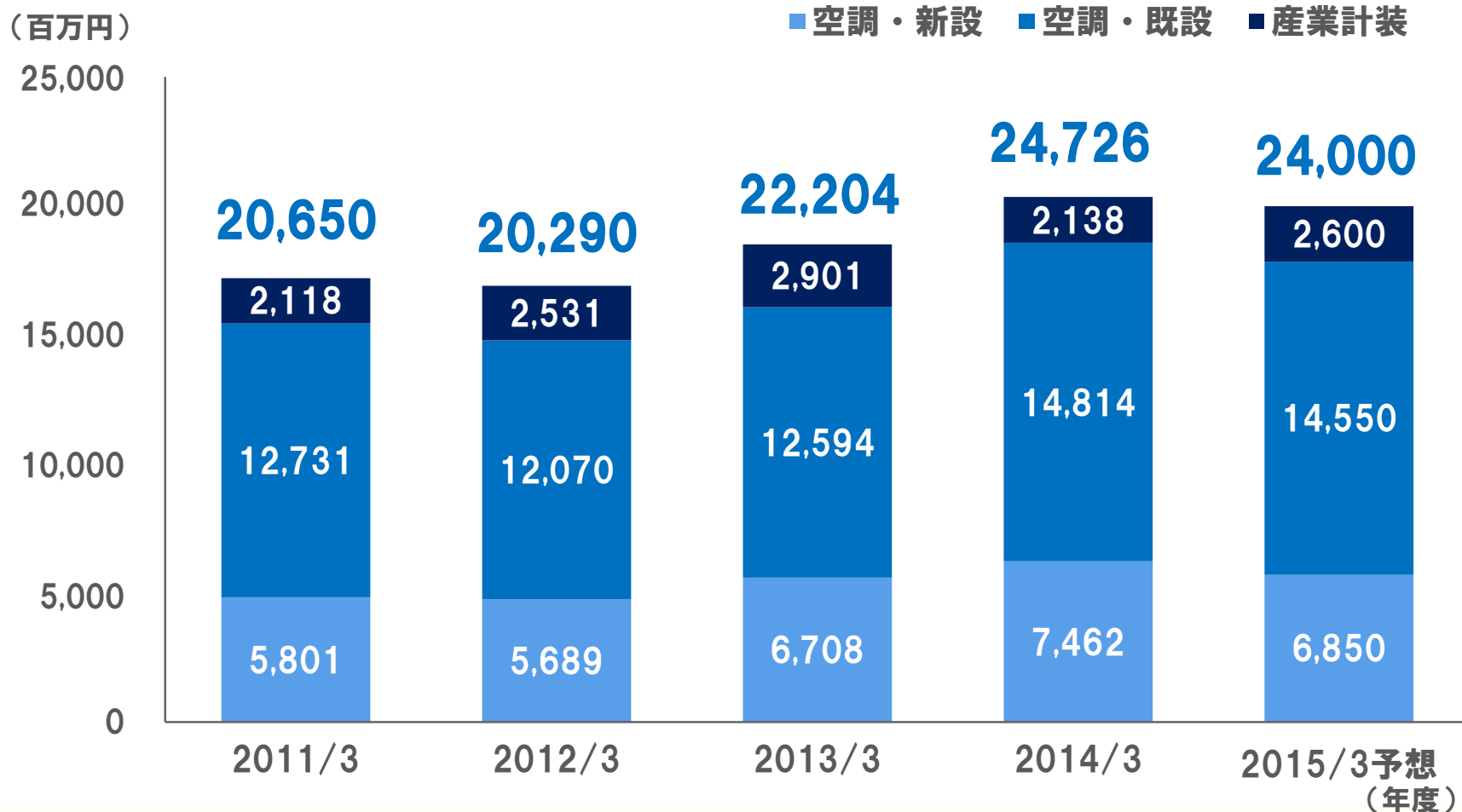
III. 業績、見通し

IV. 外部環境、今後の戦略

V. 株主還元について

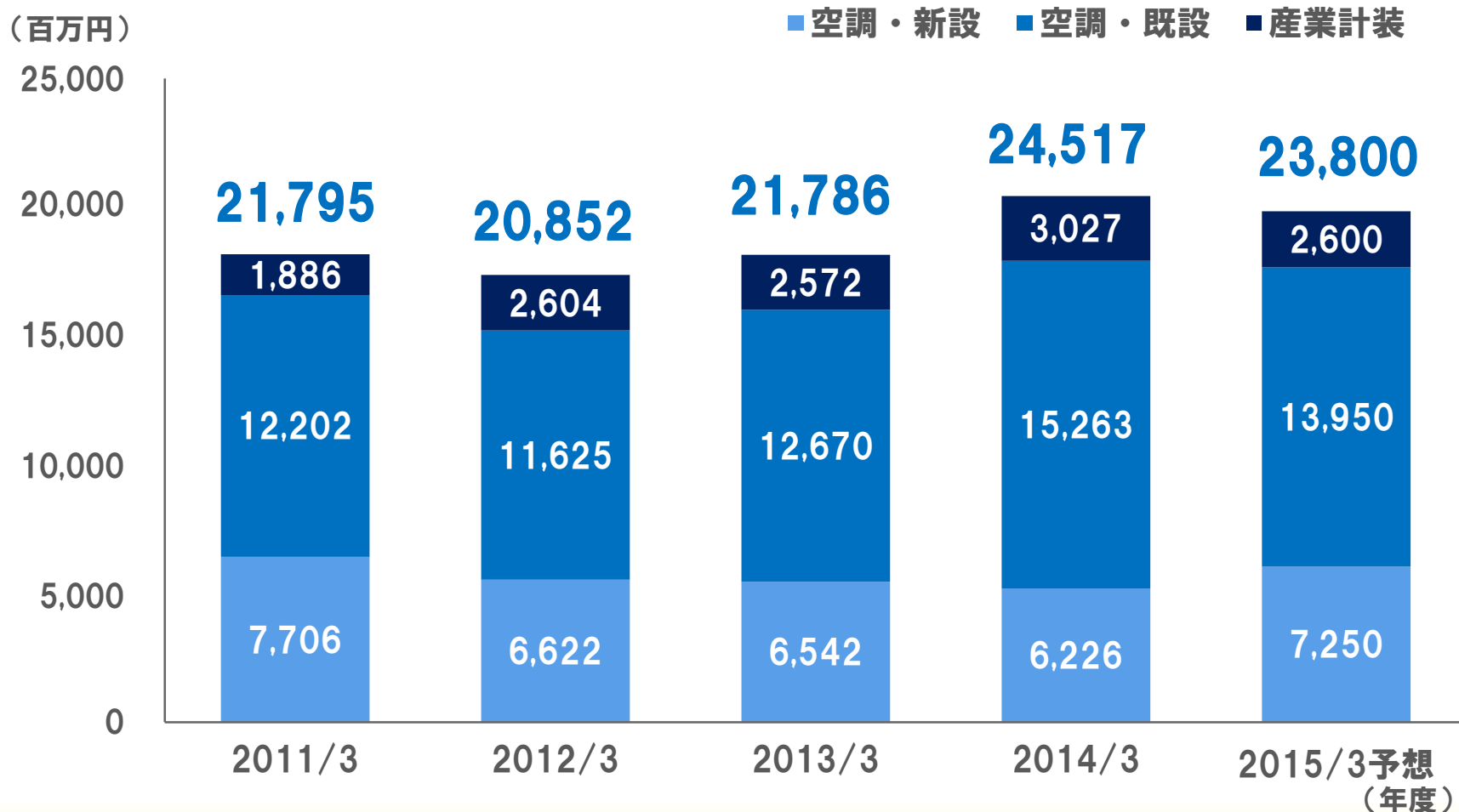


受注高推移・予想(事業別)



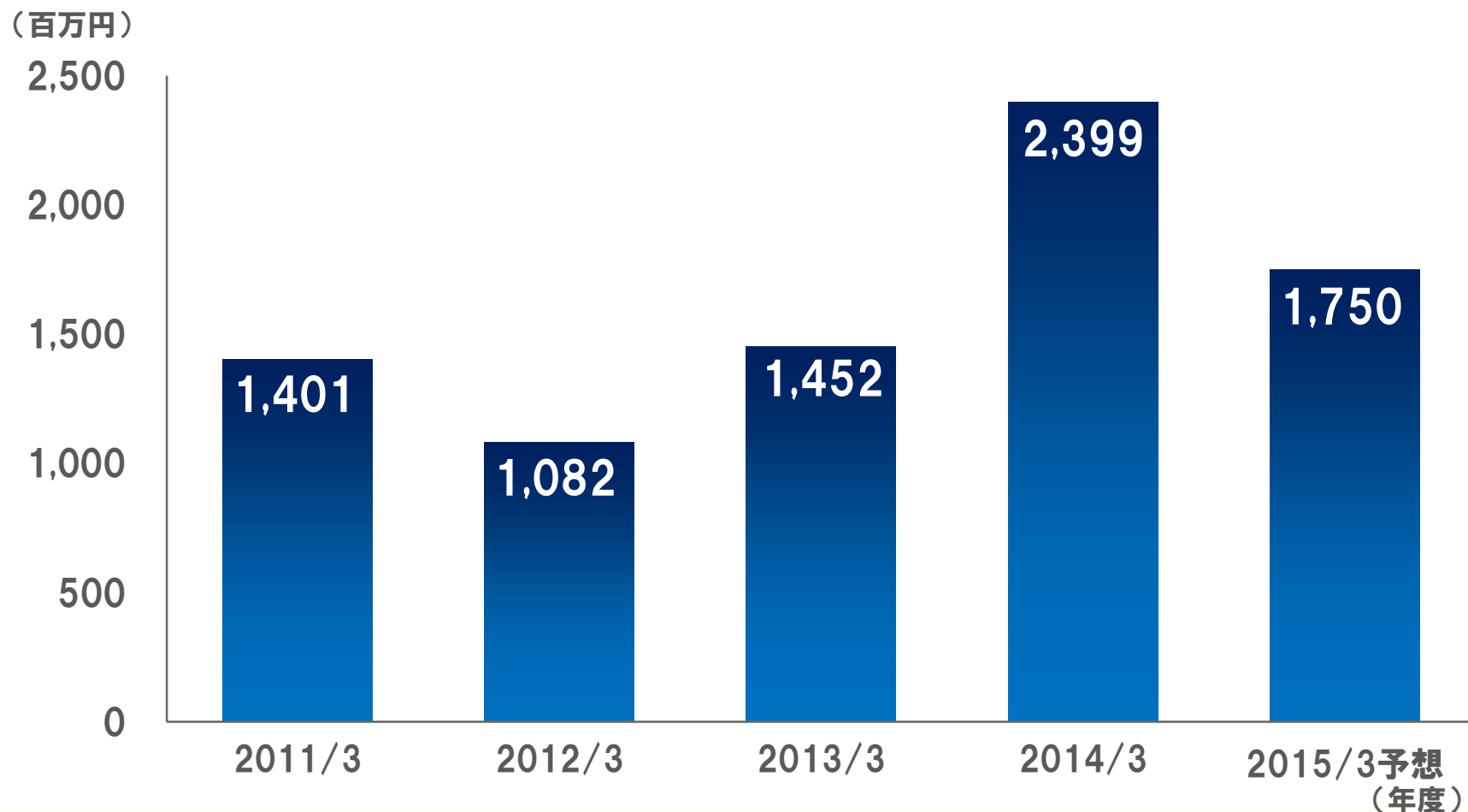
前期比微減と予測

売上高推移・予想(事業別)



空調・既設の反動減により、前期比減と予測

経常利益推移・予想



前期比減収・減益と予測

当社の四半期業績について

(各期の業績は累計値／百万円)

2012年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期実績
売上高	2,032	6,240	9,932	20,852
売上総利益	580	1,424	2,191	5,422
経常利益	▲508	▲719	▲1,090	1,082
2013年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期実績
売上高	2,777	7,033	10,703	21,786
売上総利益	785	1,768	2,698	5,981
経常利益	▲326	▲442	▲582	1,452
2014年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期実績
売上高	2,082	6,885	11,513	24,517
売上総利益	601	1,608	2,939	7,212
経常利益	▲480	▲559	▲311	2,399

- 当社は第3四半期まで経常損失であることが常態です
- 当社は第4四半期に売上、利益が集中して計上されます

- I. 会社概要
- II. 事業説明
- III. 業績、見通し
- IV. 外部環境、今後の戦略**
- V. 株主還元について

New Design
For The Next



外部環境(その1:先行指標)

1. 建築着工は底打ちから増加傾向

●民間非住宅建築着工床面積の推移

単位:千㎡

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014 (見通し)
事務所着工床面積	6,366	4,658	5,039	5,315	4,819	4,978
工場着工床面積	5,446	6,405	7,168	8,203	7,890	8,000
計	11,812	11,063	12,207	13,518	12,709	12,978
(対前年度伸び率)	-41.7%	-6.3%	10.3%	10.7%	-6.0%	2.1%

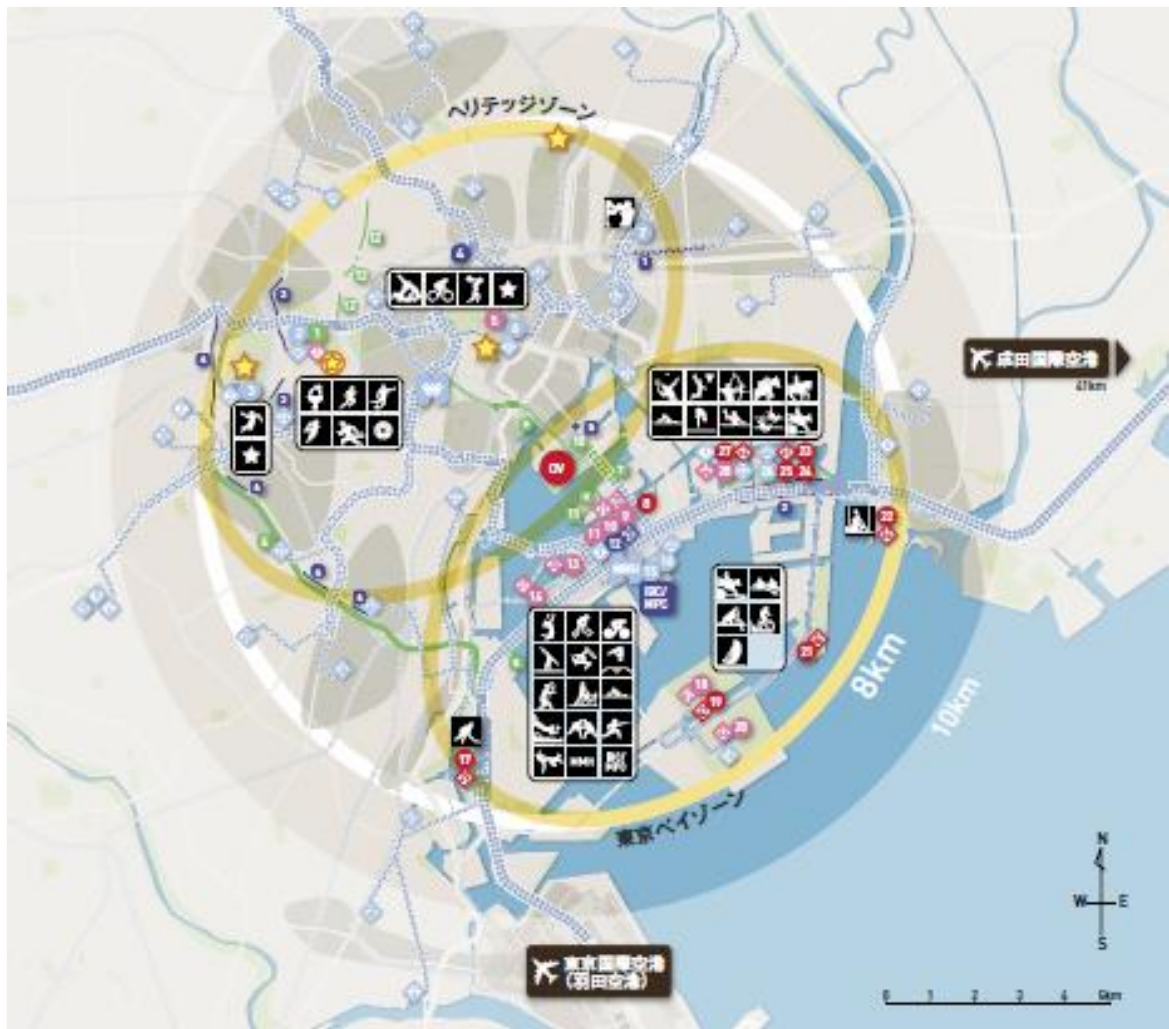
(財)建設経済研究所調べ

2. 建設各社は堅調な推移(2013年度実/2014年度予測比較)

	売上高伸び率	営業利益伸び率
大手ゼネコン上場4社平均	3.0%	10.5%
空調設備会社上場8社平均	2.9%	1.2%

※連結決算ベース

外部環境(その2:東京オリンピック2020)



オリンピック招致委員会資料より

東京オリンピック
開催に向け、
新規9施設を含む
37箇所・39会場が
整備予定



直接的な競技会場整備需要
に加え、都市再開発案件、
既設のホテルや商業施設等の
リニューアルが期待される

外部環境(その3:省エネ法改正について)

省エネ法 → 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」

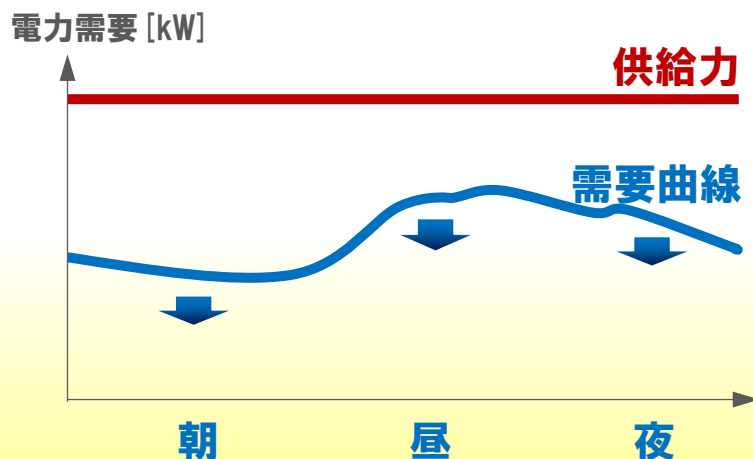
2014年4月から法律名称変更

電気の需要の平準化

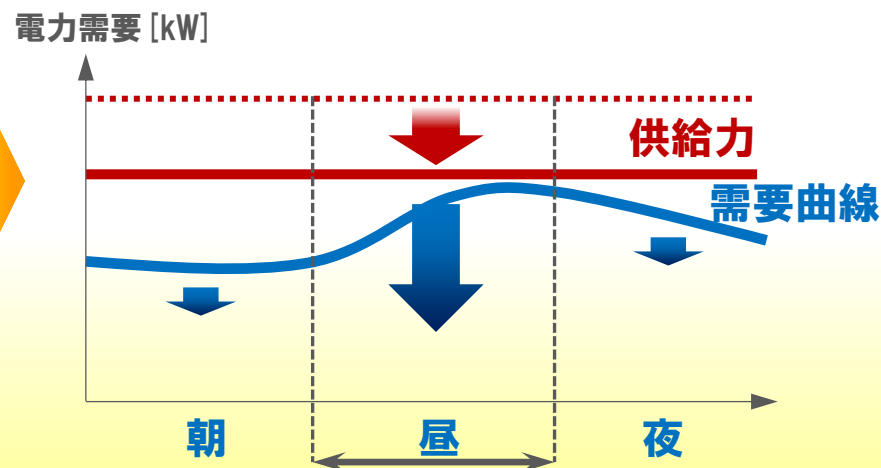
「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」

「電気の需要の平準化」とは？ : 国全体の夏期・冬期の昼間の電気需要を低減すること

従来の省エネ対策 【量、効率の省エネ】



電力需給バランスを意識した対策 【量、効率の省エネ】+【時間】

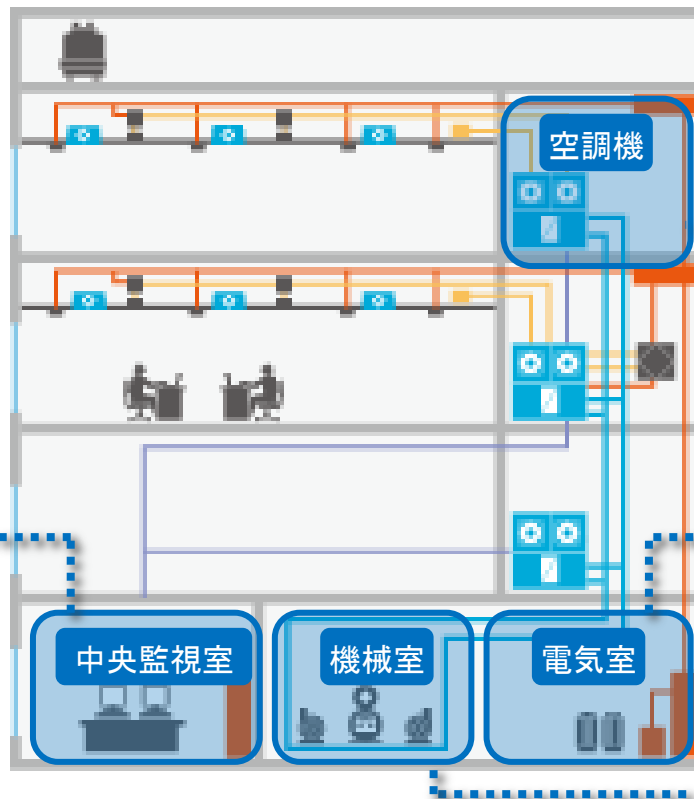


※資源エネルギー庁資料を基に作成

計装による省エネルギーについて

省エネ事例① 中央監視装置の 機能拡充

各階のセンサーから収集した計測データを中央監視装置に集め、エネルギー使用状況を分析し、最適な省エネポイントを探る。



省エネ事例② 空調設備の最適制御

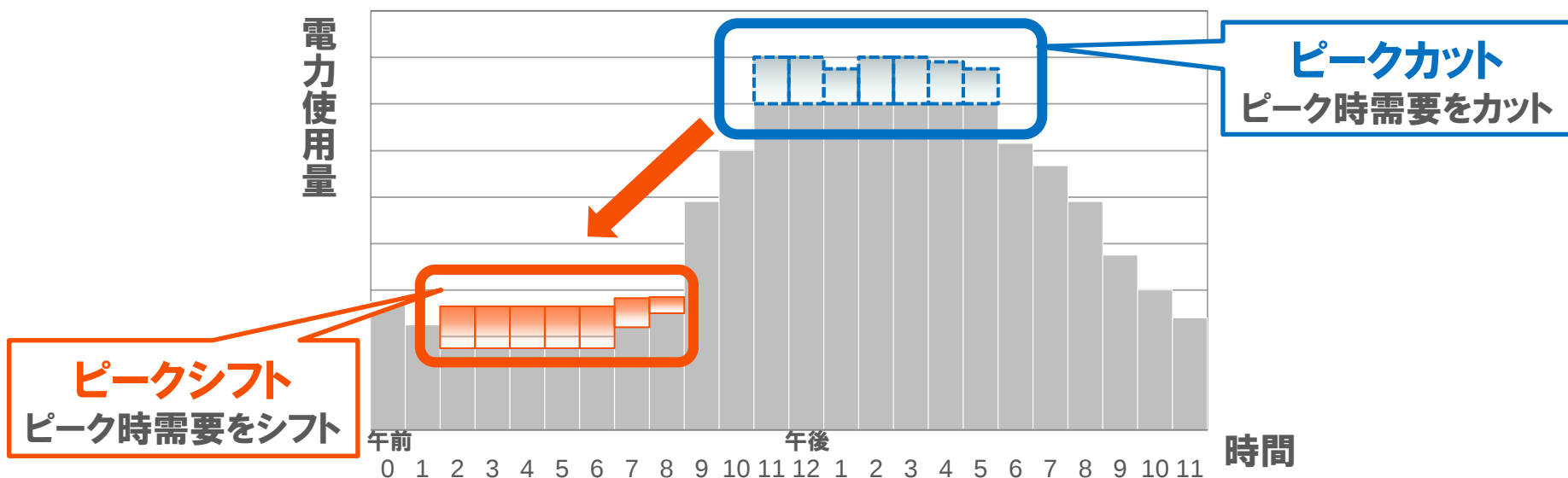
省エネ事例③ 受変電設備の効率化

省エネ事例④ 熱源設備の動力低減

設備の最適運用により、エネルギー使用量を削減

既存設備の入れ替えを行うことなく、低コストで省エネルギー化が可能

ピークシフト、ピークカットについて



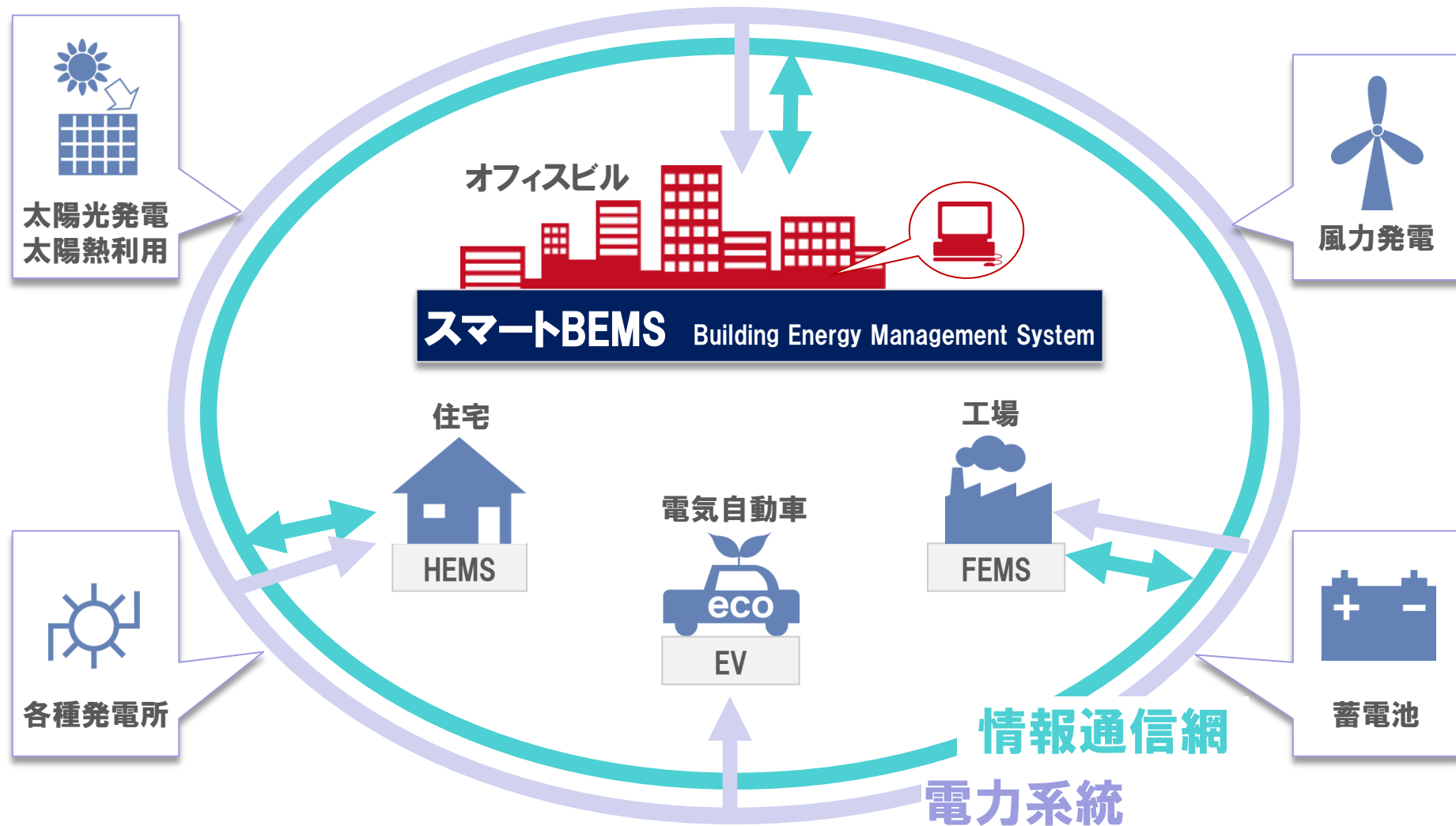
対策	
ピークシフト	蓄電池、蓄熱システムの導入、設備稼働時間の変更
ピークカット	自家発電設備、コージェネシステムの導入、ピーク時の強制カット

シフト、カットの前提

電気使用量の計測管理、
設備制御の徹底

BEMSの導入

省エネルギー対策の将来(スマートグリッド)



事業別戦略(総括)

空調計装関連事業

新設

既設に繋がる物件の受注

- 空調計装／新設は全ての事業の基礎
- 既設に繋がる物件は一定量確保

既設

営業力強化による受注量の確保

- モダニゼーション…旧型中央監視装置の最新型への置き換え(BEMS含む)
- 社内外のデータを活用した積極的受注活動

産業計装関連事業

既存顧客の深耕と事業体制の強化

- 食品・薬品工場を中心としたお客様への深耕
- 本社新組織を司令塔とした新たな事業体制

省エネルギー新時代に向けての布石

- スマートグリッドなど将来技術の調査・研究、事業分野拡大検討

将来技術の調査、研究(テクニカルセンター開設)

最新技術の研究と人材育成を目的として、
実機設備を備えた技術施設「テクニカルセンター」を
2014年4月に開設

外観



実機設備



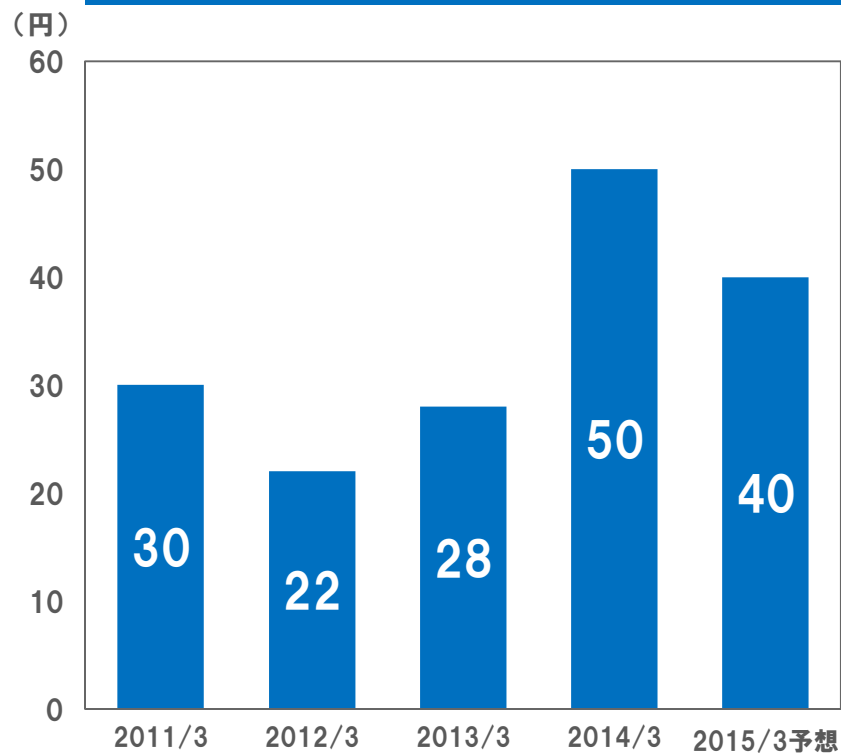
- I. 会社概要
- II. 事業説明
- III. 業績、見通し
- IV. 外部環境、今後の戦略

V. 株主還元について

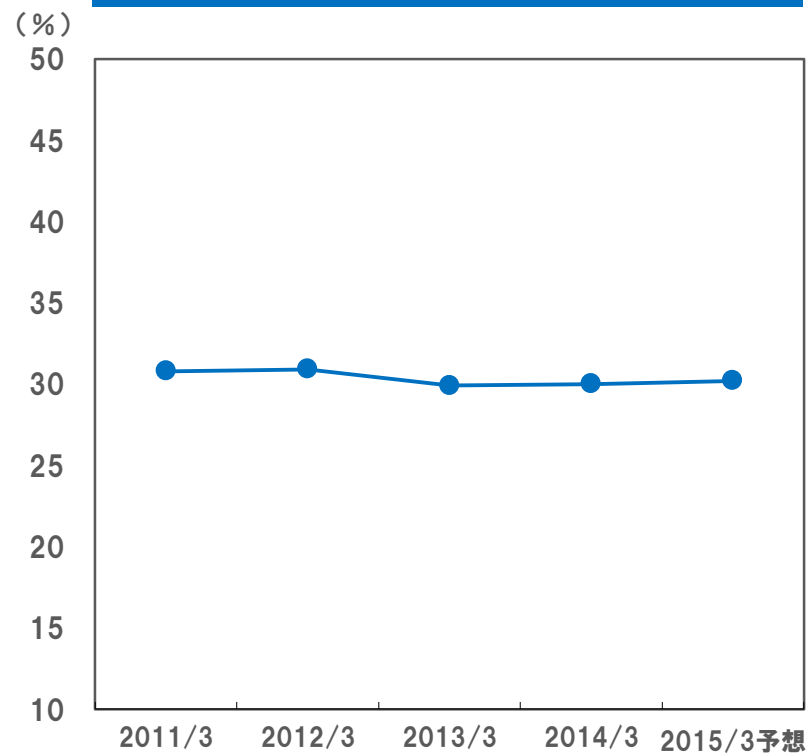


配当について

一株当たり配当金推移



配当性向推移



配当性向一定をポリシーとし、業績連動型配当を実施

IRに関するお問い合わせ等ございましたら、
日本電技株式会社 経営企画部までご連絡ください。

New Design

Tel: 03-5624-1011
<http://www.nihondengi.co.jp/>
Mail: ndkikaku@nihondengi.co.jp

当資料に記載されている日本電技の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、
これらは、現在入手可能な情報から得られた日本電技の経営者の判断に基づいています。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。